

第6回とよはしシンポジウム

徳川の城・吉田城



酒井左衛門尉
忠次

吉田城と徳川家との深い関係は、家康の東三河平定と重臣の酒井忠次の入城からはじまります。徳川支配下の吉田城の実態とそれをめぐる争いの歴史について、日本を代表する研究者のみなさんを講師に招いて紹介するとともに、戦国期吉田城の重要性をさぐります。

2023年

9月23日(土・祝)

会場 豊橋市公会堂

(豊橋市八町通二丁目22)

豊橋駅市内線「市役所前」下車すぐ
公共交通機関をご利用ください

参加無料

開場 12:00 開会 13:00 当日受付 定員 600人

- 12:00 開場・受付開始
- 13:00 ~ 13:05 開会あいさつ
- 13:05 ~ 13:35 「東三河の酒井忠次」 山田邦明 (愛知大学教授)
- 13:35 ~ 14:05 「戦国時代の吉田城と徳川の城ー馬出を中心としてー」 寺井崇浩 (豊橋市文化財センター学芸員)
- 14:05 ~ 14:15 休憩
- 14:15 ~ 14:45 「変貌する吉田城ー豊臣の対徳川戦ー」 加藤理文 (日本城郭協会理事)
- 14:45 ~ 15:15 「徳川家康と酒井忠次」 柴 裕之 (東洋大学非常勤講師) NHK大河ドラマ「どうする家康」時代考証
- 15:15 ~ 15:30 休憩
- 15:30 ~ 16:40 座談会「徳川の城・吉田城を考える」 司会: 安田 暖 (エフエム豊橋)、岩原 剛 (豊橋市文化財センター所長)
- 16:40 ~ 16:45 開会あいさつ

